

牧野井のぼる

西川伸啓さん（28歳、元牧野本町二丁目在住）

△その1▽

1991. 10. 1号

◇：九月号の表紙は殿二小学校であったが、それを見た読者からファックスが送られてきた。「公民館日より39号表紙はわが母校殿二小学校で大変うれしかったです。ゴレンジャーのいるところが校長室、ウルトラマン・セブン、バカボンパパのところが職員室なのだ。学校のかえりには前の文具店ナポリによくたむろしたものです：（以下略）」。送信人は知る人ぞ知る知らん人はぜんぜん知らんという『波頭マガジン』の編集長西川伸啓氏。さっそくその体験を語ってもらった。奥方も話の引き出し役というか、尻叩き役として参加。あやしい牧野空間がここによみがえる。（なお、カットも西川氏）：◇

△生まれは？▽

昭和三十八年。二十八歳です。

△奥さんは？▽

「えっ、私？ 三十九年生まれ」

△名前は？▽

「西川圭以子」

△ではしゃべってもらいましょうか▽

生まれは守口なんですよ。で、一年ぐらいしてから枚方にかわった。えー、牧野本町二丁目四……（地図で探して）ここですね。

結婚して、名前二回変わってるんですよ。最初が藤井。父母が別れて伊藤になった。「藤」いう字、むつかしいからきらいやったのに、続いた。（笑）結婚して、嫁さんの姓を継いだから、今は西川。やっと変わった。

* * *

「どんだん話せんかいな。その家の話をー」

どんな話を？

「だからー、作家の人が住んでたて言ったやろー」

あのね、有明夏夫っていう人がいたんですよ。

△ああ、有明夏夫（直木賞作家）……▽

あの人がしばらく住んでたんですよ。僕らが引っ越したあと。

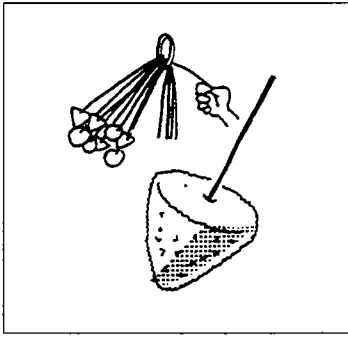
△そこはどれぐらい？▽

一歳ぐらいから小学校六年まで。それから片鉾橋渡ったこっちの方に引っ越した。

△そしたら、交北小学校にかわった？
いや、小学校は卒業するまで殿二小学校に通ってた。その頃遊んでたところいうたら、(地図の)西公園で書いたある、ここなんですよ。ここから東牧野の府宮の中の東公園、三角公園で言うてたけど、そこらで遊んでた。

* * *

幼稚園は、殿二の前にある招提保育園行ってた。それで、三角公園のそばに駄菓子屋があったんですよ。二軒。一軒が「花屋」っていう名前だね、もう一軒は名前は知られてなかったですね。その頃僕らは「駄菓子屋」って言わんと「十円屋」って言うてたんですよ。「花屋の十円屋」と「もう一軒の十円屋」って言うてたんですよ。(笑)小学校一年の時の小遣いが一日十円。十円の当てもんやったら一回で終わりやから五円で当てもんして、残り五円でしょうもない菓子買ってた。どっちとは言わんけど、一軒の方のおばさんはちよっ



とがめつくて(笑)、五円の当てもんぐらいやったら「ふん」てな感じで。(笑)
△そんなに子供が毎日ぎょうさん来とった？
そうですね。来てましたよ。
公園のそこなんかいつも子供が

ドワーツといたけど、今は何か閑散としてますね。

△町の風景は変わってへん？
家は増えてますよね。うちの裏の方とかは、その頃まだあんまり建ってへんかったから。

* * *

今、「サンコー」であるでしょ。これは前は「スーパーマキノ」ってあったんやけど、火事で焼けて変わったんですね。そのスーパーマキノの開店の時は、住宅の中の方までチンドン屋が練り歩いて、子供がぞろぞろぞろぞろついて回って、面白かったですよ。

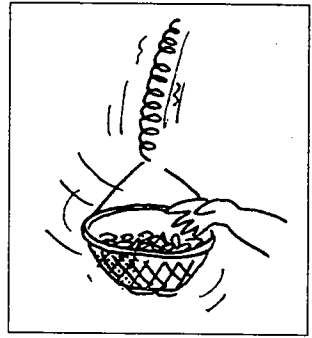
それだね、市場やったらもう一つ、「牧野百貨ストア」っていうのがあったんですよ。それも今は名前変わって「メルカード・マキノ」になってますね。スーパーが主で小売店が何軒かあるけど、牧野百貨ストアの時は完全に市場形式やった。

* * *

市場で言うたら、小銭をざるに入れて天井から吊して、葉巻みたいな蠅よけの線香みたいなのをたいて、昆布のような蠅取り紙を吊って……そういうのがなくなりましたね。蹠蹠(光善寺駅周辺)にはまだそういう店があるけど。

お菓子なんかも、量り売りでしたよ。

△缶に入ってるのをすくって秤(はかり)にかけたりとか、ガラスのふたのついたケースに入ってるのをすくって取って秤にかけ



るとか▽

そうそう。ビニール袋に入れてブチュッと入口のどこを熱着器でくっつける。量り売りはちよっと難点があって、湿気とか帯びるねん。

△なるほど。ふたを開けたり閉めたりするからな▽
トップセンターもつぶれましたねえ。

△いや、まだ三軒ぐらい残ってやってるんと違う？▽

ほんでね、もう一軒市場があったんですよ。「このみや」からもっとこっちのこの辺（養父丘一丁目）にも一軒あったんですよ。そこはもうつぶれて完全に宅地になってますわ。だから、三軒、市場があった。

* * *

あ、ここのIいう家、僕の友達がおった。(笑) GIジョーとかめっちゃぎょうさん持つとって、うらやましかった。メルカードの横のおもちゃ屋にも友達おった。今でもあるでしよ？

△マミーか？▽

そうそう。おもちゃ屋やから、おもちゃは何でも持つとるから、仲良くしとった。(笑) 貸してもらっただけやけど。

△どんなおもちゃ？▽

サイボーグとかミクロマンとか。

牛乳のキャップで遊びましたよ。今やってないかなあ。小学校の給食の牛乳あるでしよ。今はどうかなあ。

「それより、家でとってる牛乳のキャップとってくるの多かった」

べったんみたいに遊んだりとか、両手をパンと合わせてその風でひっくり返すとか。(笑) 給食で出る牛乳は保証牛乳で、あんまり値打ちない。森永とか雪印とか持つてる方が値打ちある。それもなるべくびたって平らになってる奴の方が値打ちある。

△ふーん▽

ふたはどうしても丸く反ってるでしよ。それがまっすぐの方がいい。ひっくり返りにくい。どういうルートで入手してくるんかしらんけど、使用前のキャップを持つてる奴がいた。

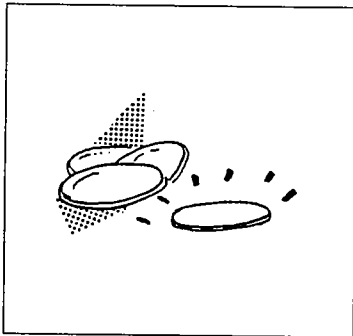
△ほう！▽

それは絶対まっすぐやった。

△それはすごい▽

交換レートが違うんですよ。(笑)

△へえー▽

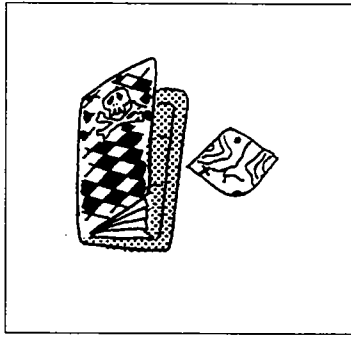


* * *

ほかに堤防でもよく遊びましたよ。穂谷川の堤防で。今は南側が車通るようになってるけど、この当時はこっち側の自然歩道になってる方が人通りが多かった。

△何して遊んだ？▽

だいたいテレビドラマとかに影響されて、スパイごっこな



んかしてた。「スパイ手帳」とかあったでしょ。のりでつくったような紙で、書いてあるのを水につけたら、のりやから溶けてしても……。サンスターカードから出た。

現できるの？▽

それはできへん。それに宝の地図か何かを描いといて、わざと水に落として「あっ、しまった」とか。(笑) 記号を描いたのを二つに割って持っていて、パツと合わせて「〇〇年ぶりに再会した」とか。(笑)

* * *

爆竹遊びとかもやりましたよ。キリン草の枯れたやつで橋みたいな建物みたいなをつくつといてから、それを爆破する。犬のうんこちゃんとか、蛙とかも爆破した。(笑)

風上げるのも必ず堤防に行っ

てた。高圧線があつてよくひっかかったけど。今のゲリラカイトみたいなんと違って、奴隷。

買ってきて、足だけ自分でつけ

た。一人が持つてて、一人が走

つて上げる。うまいこと上がら

んと、逆さまに落ちて、土の上

でガガガガ……。

△あるある▽ (笑)

「助手がおらへんかったら絶

対あかん」

上げる係に昇格するのがなかなかや。(笑) 「持つとけ」

て言われる。

飛行機も飛ばしたな。プロペラの、ゴムで飛ばす飛行機。

自分で作るのもあったけど、作りつけのもありましたよ。布が張つてあつて、胴体は木に色を塗つてある。

* * *

穂谷川も、もっと水が流れとつたけどなあ。穂谷川は水が汚れとつて、あんまり魚はおらんかった。ちょっと川の中に入つたら、足がすぐ臭うなつた。

外大のグラウンドのいちばん穂谷川に近い端っこに、ゴルフ

の練習か何かのネットが張ってあったんですよ。それでね、高さがどれぐらいあったかなあ。三メートルぐらいかな。そのネットを登って、ぐっと曲って突き出した天井の上で寝るんですよ。ハンモックみたいにして。誰にも吐られなかった。気持ちいいですよ。

ヤンプラ（ヤングプラザ）も、最初はゴルフ場とかだけだったんですよ。後からプールとボートリング場ができました。で、そのプールが、冬になったら釣り堀になってましたよ。

△ほんま？ プールが？

うん。それに、プール開きの時はただでしたよ。

（続く）

牧野本町

西川伸啓さん（28歳、元牧野本町二丁目在住）

△その2

1991. 11. 1号

昔、幼稚園ぐらいの時、京都銀行と枚信（枚方信用金庫）

ぐらいしかなかった。京都銀行の中に、夏になったらウォーター・クーラーが置いたった。コップをパッと当てたらピャーって水が出てきた。あれが楽しみでねえ。ただで冷たい水が飲める。だから母親が銀行いく言うたら、「あ、ついてくって……。それだけが楽しみでした。」（笑）

△あの頃は、ジュースの素とか、主婦が平気で買うとった。粉のやつ

そやそや。

△ホホイのホイでもう一杯、ワタナベの、ジュースの素ですもう一杯

「知らん知らん、そこまで古ない」（笑）
缶ジュースはなかった。

△びんやったなあ。バヤリースとか

「遠足でおやつ持って行く時、バヤリースのジュースがな

ぜかついてた」

△あの頃はむしろサイダー、ラムネ違うか▽

「そうそう。サイダーサイダー」

△ビンに入ったミルクコーヒー▽

「牛乳も宅配やったしね」

△今もそう違うの？▽

「今は紙パックの買うでしょう」

△それでも今も配達あるで▽

今やっているの、週一回と違います？ まとめて。

△ほんと？ ふーん、ヤクルトは毎日やる▽

「子供の時ね、ヤクルト置いてある家あったら、朝早く行って飲んだことある」(爆笑)

置いてったもんなあ。門柱の上とか。

「パンも店の前につんだるやる。パン盗む奴あったで」

おったおった。

「私とこね、おばさんがパン屋やったからそれは気いつけた。いつも。それがな、メロンパンとって行きやんねん、いつも」(爆笑) 「食パンはもって行かへんねん。長いから」

* * *

パンいうたら、スーパーマキノがあった時ね、市場やから朝十時頃から店が始まるんですけどね、幼稚園行く前の時間やから七時かそれぐらいに、パン屋だけおっちゃん早よ来て、

朝届いた食パンスライスしてるんですよ。まだ暗くて誰もほかにいてない。そこへ毎日買いに行ってた。その頃いうたら一斤きんやのうて半斤でパン売ってたんですよ。夏とか日もちせえへんから、朝毎日買いに行ってた。異様な空間やったで、まだ店せんぶ閉まってたから。

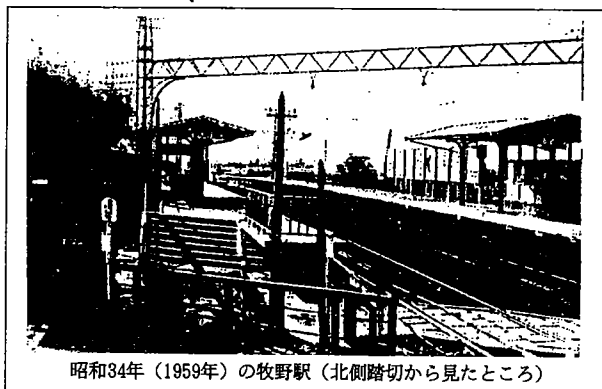
△どのパン屋？▽

ヤマザキ。

* * *

駅はあんなに大きくなかったですなあ。改札から行け行けになって、地下にもぐってなかった。急ぐ時はバアーツと改札突き抜けて、そのまま電車に乗りました。駅員も別にそんな事は怒らへんかった。のんびりしてた。

△うちんとこのJRの駅今もそんなやで。急ぐ時は乗って後から買うねん。駅で買う時も、無人駅で昼だけ出張してきてる人やから、小さい電卓みたいなんパツと押すと、ジジジジで紙が出てくる。それちぎった



昭和34年（1959年）の牧野駅（北側踏切から見たところ）

ら切符やねん。紙、内蔵しとるわけやV

「交野線（京阪電車）もな、券売機が閉まったら、カレンダーの紙の裏に手書きで書いて、ポンと判を押ししたらそれが切符」

「へえー、それ最近？V

「最近。最近券売機ができてからやから」

それから、踏切に旗振るおじさんがおった。小屋もあって、駅の横の踏切閉まる時は、旗振ってた。

「へいたいた。市駅の西側の踏切にもおっちゃんがいた。あの頃踏切は手動やったんかなあV

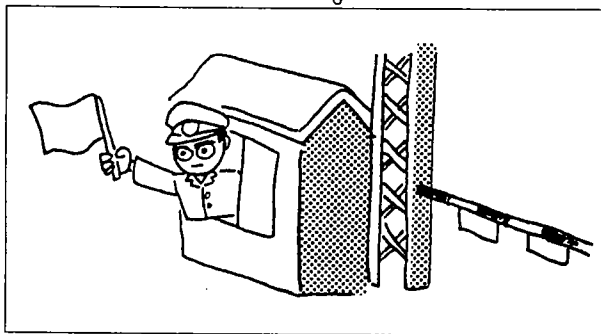
僕らの頃は自動やった思うよ。

「いつまでやるなあ。小学校の時、おったよなあ」

おった。中学校になっても、しばらくおったんちがうか。

「ああ、おったなあ」

* * *



僕の家、牧野本町やったけど、自治会に入ってたかったんですよ。親が自治会と喧嘩して。（笑）そやから、自治会関

係の行事にはいっさい参加せんと、東牧野の府営住宅の方に

知り合いの人いたから、そっちに呼んでもうていろいろ参加してた。（笑）あ、これや。この電話ボックスのある公園、

この角にお地蔵さんがまつたるんですわ。ここに来たら、盆踊りいうたら必ず「オバQ音頭」と坂本九の「レッツキッ

ス」を踊らされるんですよ。（笑）それで、ここの盆踊りは府営住宅が仕切ってたみたいで、テキ屋とかはぜんぜん来い

ひんのやけど、アイスクリームとかパンを子供にただでくれる。踊りはいややけど、パンはほしかった。金魚すくいもな

かったから、お金つかうとこなかったですよ。

* * *

片笠神社は、今正月でもえらい賑わいでしょう。僕子供の頃、小学校の時、正月でも誰も行ってなかったですよ。ほとんど飾りつけもしてなかったです。

「へえーV

幟のぼりも何もない。閑散としてた。

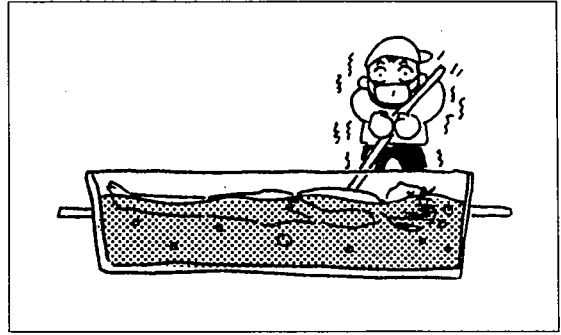
「へんと？へえーV

「一之宮いうのに情ないなあ」

店も来てないし。

* * *

関西医大には、よく夏行って蟬取りをしたですよ。そうそう、医大には伝説があったなあ。死体沈めのバイトがあるっ



て。一晚やったら一万円……。

「うんうん」

「それ、ほんま違うん？」

「嘘でしょう。マクドナルド

の肉は犬の肉、とかねえ。人の口から口へ伝わる噂……」

「死体そのものは解剖するやろ？ だからその死体を扱うバイトは高い……」

「そんなないねんて」

それは単なる噂だけ。典型的

なフォーク・ロア（民間伝承）として有名になって、分類さ

れてるねん。

「ほんま!?!」

だから、必ずその話は自分の知人が直接やったいうんとち
ごて、知人の知人がやったという形で伝わっていく。

* * *

「家に風呂あったから、お風呂屋さんには行かへんかった？」

「行ったよ。」

「どここの？」

「穂谷川のどこの……ここや。ニューホープ温泉。」

「あ、阪会館のそばにも風呂屋あんなあ。入りに行く

か。（笑）きれいなんでえ、夕方行ったら。一番風呂は気持ち

ええで！」

「おっけい湯と浅い子供用の湯と、ポコポコの湯と……」

「そやそや」

「ちょっと熱いところかあったなあ。深くて熱いところ」

「今はもっと薬湯とか電気のやつとかジェット噴流とか、いろいろある」

「今でも絵とか、いっしょなんかなあ」

絵はあまり見かけんのとちがうかなあ。

「昔はタイルで埋め込んであったりしたなあ」

ニューホープ温泉の女湯見に行こか？

「女湯!……」

「たいてい母親と一緒にから、女湯やった。バンドとか描い

たっと思っわ。」

「子供があせもつくったら、青いビンに入った、ねっとり

したのつけてたなあ」

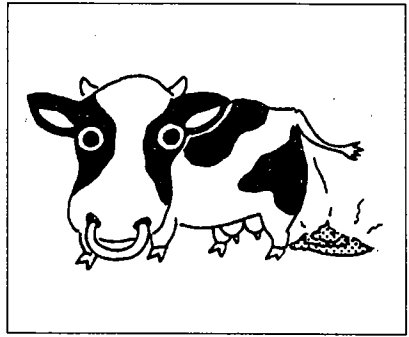
修正液みたいのん。

「そうそうそう。タムシチンキみたいなん。それで、あと

天花粉をバーと真っ白につけてた」

* * *

昔、招提の中で牛飼うてるとこあったんですよ。



△ あったよ、最近まで▽
 そうですか。
 △ 見に行ったもん▽
 「何頭ぐらいいでした？」
 △ 十頭ぐらいいおったん違うかなあ▽
 やっぱり。そこへ小学校の時
 見に行った。

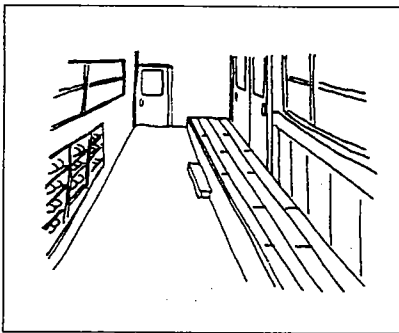
「あんた、きのう何十頭おたって……それ北海道やんか
 ！」（笑）

△ ちゃぼを中で放し飼いしてあった。ちゃぼが群つくって
 ちよこちよこ歩き回ってた▽（笑）

「乳牛？」
 △ 白と黒のやから、ホルスタインやと思うわ▽
 牛見に行って何すんのかいうたら、社会見学ちがう。帰っ

てきて、絵描きなさい……。 （笑）
 「すごい展開。においするやろう、強烈な」
 するする。臭い臭い。

（続く）



あれ、この地図の殿二小学校の図、古いなあ。この校舎な
 いですよ。昔の木造校舎のままになってる。ほら、運動場が
 二つに分れてるし。今はこれはなくて、こっちの校舎の前に
 もう一棟建ってます。

この木造校舎が古い校舎でねえ。この体育館は、前はなく
 て、こっちの方に講堂があって、もう古くて閉め切ってまし
 たよ。招提保育園の時、予防注射でここの講堂にきましたよ。

だからここは嫌いやった。注射
 されるとこやから。（笑）この
 古い校舎は、床が二段になっ
 ましたよ。コンクリーの廊下が
 まずあって、その上に一段上が
 って木の廊下があった。そして
 教室。下がまずあって、その上
 に一段上がって木の廊下があっ

牧野井のぼなし

西川伸啓さん（28歳、元牧野本町二丁目在住）

△ その3▽

1991. 12. 1号

た。そして教室。

「へえー、そしたら土間かたたきみたいやなあ」

「そうですね。」

「コンクリートのところに、いちいち白線が引いてあるんですけど。右側通行せえとか。おせっかいな……」(笑)

* * *

それでねえ、この校舎、途中で分れてるんですよ。三つと二つ教室があつて、真ん中に便所があるんですよ。で、僕が入る前の年まで、こっちにはだるまストーブがあつて、そのストーブ用の石炭が山のように置いてあるままだつた。石油ストーブにかわつたわけ。隣の教室から向こうはみんなガスやのに、僕らだけ石油。それも、一冬の半分ぐらいストーブなしで、見るに見かねた親か誰かが石油ストーブもってきはつた。

「ドヒャー!! 私、高校行ってクーラーあつた時、文明開化かと思つたわ」

「そんなんあつた?」

「うち、私立やもん」

「図書室だけクーラーあつた。」

* * *

それから、殿二のプールの前に、観察池というのがあつたんですよ。魚飼うてた。その観察池、二年か三年前に行つたら、

大きなフェニックスが植わつて、池がなくなつたある。卒業制作で作つたトールポールがテラスみたいなどこにあつたんですけどねえ、朽ち果てたんねん。「こんな、木で作つたらあかんわ、卒業制作」……て思つた。

「そんなん残つてるだけマシや。うちの学校なんか建て替へやから、ガーツと取つてしても、どこ行つたかわからん。何にも残つてへん」

* * *

「学校の給食、食器は?」

「アルマイトやろ?」

「アルマイトで黄色いやろ。アルマイトちゃうねん」

「アルミか?」

「先割れスプーンで……」

「今もそうかなあ。あれだけ評判悪かつたのに」

「うーん。だけど使つてるんちゃう? ごはん給食はなかつた?」

「ぜんぜんなかつた。プリンが出たけど、プリンが必ずぬくい。(笑)アイスクリームの素いうの出たことある。これを固めたらアイスクリームになるいう、どろっとしたやつ。」

「へえー、そんなん食べるん? そんなどろっとしたの給食に出るのん?」

「出る出る。」

「はあー？」

と思うやる。出るねん。(笑)

* * *

「シャーペン使ってた？」

シャーペン禁止やった。

「ロケット鉛筆は？」

ああ、減ったらうしろへはめるやつ。

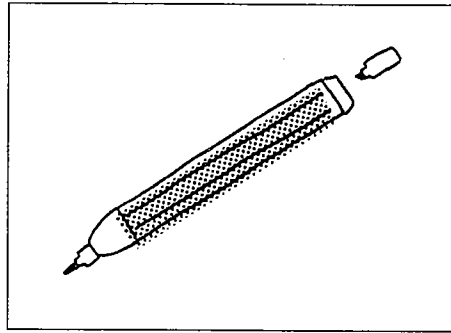
「どなんん？」

「ブロックみたいなんをつな

いでくねん」

使い捨てのはしりやね。

* * *



運動会の時、大壁画って作ってた。個人の画板あるでしょう、ベニヤで作った……。あの画板に上下二つつ穴開けて、それをぜんぶ針金でつないで、そこに画用紙貼って、一コマ一コマ描いて、それを校舎の上から吊してた。

「運動会を盛り上げるために？」

うん。横をつないでないから風に揺れるやる、めっちゃ危ない。ぶら下げるもんやから、運動会の間中、暗い暗い。

(笑) 画板あったって個人の持つてるやつやから、規格統一なんかしてない。ちょっとずつずれてる。でも、穴開けられ

た時ショックやったわ、自分の画板に。(笑) 「何するねん！……て思った。」

「三階ぐらいから？」

そう。

「下まで？」

途中まで。

「何してるとこの絵？ 運動会で走ってるとことか？」
「そうですねえ。デザインは、子供の描いたやつを抽選で選ぶんですよ。」

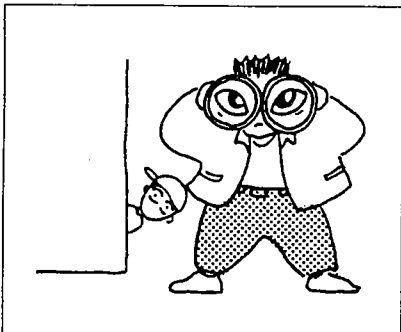
* * *

小学校にねえ、変な用務員のおじさんいたですよ。ほら、学校で遊んでも、いい時間になったら帰らなあかんでしょ。そしたら必ず望遠鏡持って立ってるねん。(笑) おったらバアアッと走ってくねん。だから、そのおっさんと勝負するねん。(笑) 見つからんようにまた遊ぶ。(笑)

「変なのー」

「望遠鏡で見つけて、こちらあつて追いかけてくるわけ？」

「そうそうそう。何ぼでも隠れるところあるもん。」



* * *

殿二小学校の校長室、掃除当番の時入ったら、古い電話あんねん。電電公社のマークの入った、プラスチックやなくてエポナイトの重いやつ。その当時でも古いと思うのが置いてあったんで、感動やった。『太陽にほえろ!』のボス（石原裕次郎）の机の上にあるやろ（笑）、あんなんやった。

* * *

△けったいな先生とか、むちゃくちゃ面白かった先生とかいてへんかった？

うーん……。

「学校生活に何も見出してへんかったやろ、自分」

小学校五年の時面白かったよ。一日も休んでへん。その一年間だけや、長い二十八年の人生の中で。

△何で？

先生が面白かった。みーんな仲良しでねえ。

△ほう！

落ちこぼれもみんな救い上げるような先生やった。だから、勉強をわかってない子も手を上げさせるようなやり方してた。

アンサー・チェック (answer-check) という札を用意するねん。クイズ番組みたいに。割りばしに紙を貼って、赤、青、

黄色の札を作るねん。いちばん自信がある時は青上げて、ちよっと自信がないなあいう時は黄色上げて、ぜんぜんわから

ん時は赤を上げる。必ず手を上げさせるねん。わからへん

も当てられるけど、赤札出してたら怒られへん。このクラスだけ変に団結して、体育祭めざしてマスコット作ろう……と。

「めっちゃ、くっさー」(笑)

△何ちゅう先生？

落合先生。

△男？

女の先生。今考えたら美人の先生。

△今考えたら、五年生ぐらいやったら考えるんっちゃう

？

その頃、好きな女の子がおったから。(笑)年離れすぎて

るとか思て。

△結婚できへんわけやな

そうそう。(笑)五年の時に、そのクラスに泥棒入ったこ

とがあつて……

「泥棒が！ 教室に？」

教室に。文房具とかとられた。

△へえー

足跡の型とか、とつたで。

「うっそー」

捜査するねん。

「どうやって」

張り込んだりして。

「うそやー」

学校へこもるねんで。

「うそー」

ほんま。やったもん、何人か
で。最終的には怒られたけどな。
俺なんか十手持ってった。

(爆笑) 腹へっってもな、給食の

パン屋がな、まだ空箱取りにき

てないねんよ。パンの耳とかあるねん。食糧はそれで確保で
きる。(笑)

「十手持って……あほやー」

だって、どんな格闘になるかわかれへんやん。

「頭悪いのちがうー？」(笑)

「先生の下の名前は？」

孝美。

「ふうーん」

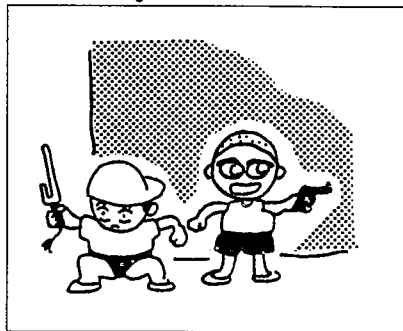
もう結婚しはったかなあ。

「独身？」

その当時はな。

* * *

殿二のまわりのこの辺、今せんぶ家建ってますけどね、こ



の辺せんぶ竹藪だったんですわ。筍の出る時分になったら、
取りに行ってた。パンと蹴って取るねん。

「取って、食べるの？」

食べへん。「そんな事したら先生に言うたる」て大人の
人に言われて、パァーと放り出して逃げるねん。(笑) 近所の
人が怒ってただけで、持主はあんまりけえへんかったみたい。
とっても食べられへんですよ、蹴って倒すぐらいやから、
先は真っ黒になって、固うて食べられへん。

* * *

「ほら、よその家の花取ったのあったやろ、サルビア？」

そう。庭の中に咲いっても入ってって、ちょっと抜いて
吸ったら甘い。子供やから無法者でしょ、よその庭でも入っ
てって取る。見つけたら、どこの庭でも取ってた。学校の帰
りとか。箱庭みたいに庭きれいなとこあったら、ちっこい橋
かけたり川流したりしてるとこ、友達連れてきて、「あそこ
面白いでえ」言って、入って遊んだ。

* * *

「スーパーで当たってエキスポに行けるとかなかった？」

竹馬に当たった。あんなん景品につけるから、竹馬だらけ
になった。近所中。(笑)

(続く)

牧野井おぼん

西川伸啓さん（28歳、元牧野本町二丁目在住）

△その4▽

1992. 1. 1号

△道路、舗装してなかったやろ？▽

そらしてない。中心の道路だけや。脇道なんかぜんぜん舗装してない。うちの近所舗装したのは、小学校三年ぐらいの時かなあ。いよいよ舗装になるいうことになったら、僕ら子供の間にパニックが起こる。ままごと遊びができなくなる…。

△ほう！▽

土集める。縁の下に入れとくねん。（笑）庭とかにはあるけど、土の質も違うし量も違う。何日もかかって集めて、結局そんなん使わへん。（笑）そしてできた舗装は、簡易舗装とかいうやつで、アスファルトを簡単に流しただけで、ガタガタなんですよ。そして細かいガラスは



飛んでしまうから、ガタガタの舗装だけが残る。

雨降ったら水たまりの中歩いてた。

△必ず長靴はいてたもんな▽

「長靴はいたら、絶対水たまりの中歩いた」

* * *

「スピッツ飼ってた家も多かったな」

うん。

△キャンキャンよう鳴いたな▽

「犬と対決せえへんかった？」

対決せえへんよ。俺、犬好きやもん。遊びに行つて犬おつたら、かわいいなって手出して、ガブツ。（笑）それからちよつと犬に近づかんようになった。

* * *

…（突如）「あ、こう書くんかあ！」

△何が!? それ…馬場前橋か?▽

「いやあ、知らんかった。汚ないなあ思ってたん。ばばさきって」（笑）

△ちよつとまずい名前やなあ▽（笑）

* * *

うちの家、キャッシュで買ったんですよ、当時。それが珍しかったんかどうかしらんけど、『主婦之友』か『主婦と生活』か、何かそんなところから取材に来ましたよ。

△注文建築？▽

ちゃうちゃう、建て売り。途中でちょっとさわったけど、何が珍しかったんかなあ。ハイカラな家やったからなあ、その当時としたら。

△天井がなかったとか▽

いやいや、ありましたよ。(笑)

△建て売りのはしりやったんやろ▽

そうかもしれへん。

* * *

幼稚園の時、大人の膝ぐらいまでつかる洪水あったんですよ。

△この辺の堤防が切れたんやろか▽

…かなあ。何でかわからへん。

△何年ぐらい前？▽

昭和四十二、三年か……。この通りのとこまで帰ってきて、こっちへ帰られへんねん。この辺にあった食堂で待ったときって言われた。

「腰ぐらい？ 大変やなあ」

△ほで、ひいた？▽

ひいた。ひいたと思うで。ほら、ここから(サンコーの横(通り)低なってるねん。

「ああ、なってるわ」

そやから腰ぐらいまできたんかわからへん。こっちの方は

何ともなかった。

「そしたら家の中までつかるやんか」

つかってましたよ。

△そしたら畳や何かは？▽

もちろん上げてましたよ。

△ふーん▽

下水の流れも、この辺は悪かったからねえ。

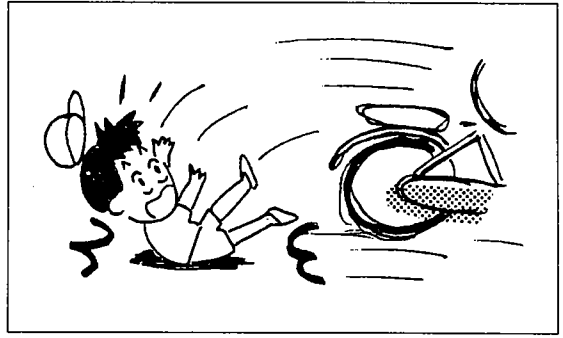
* * *

「お母さんの自転車の話、しいな」

そんなん別におもろない。

「おかしいから、しいな」

あの一、今みたいにみんな自転車に乗ってなかったですよ。僕が小学校一年ぐらいの時は。大人が実用目的で乗ってた時期が一段落して、次にミニサイクルの時代までの間、自転車ががいちばん少なかったんですよ。だから、子供用の二十インチの自転車買ったら、それに母親と二人乗りして、牧野まで遊びに行った。帰りもその子供用の自転車乗って帰ってくるんやけど、サンコーの横、一段と低くなってる。この坂、むっちゃとばすねん。ピヤーツと、うちの母親。子供用の自転車やからうしろの荷台もちっこいから、僕が振り飛ばされてるのに気づかずに、どんどん行ってしまえばねんから……。



△長崎屋書店のあたりを曲って下りてくんやね▽

「坂やのに、かえってスピード出しゃんねんて」

△おー、恐ろしい！▽（笑）

「ブレーキかけんと曲るねん」

△それで振り飛ばされた？▽

うん。

「お母さん、気づかんと行く

ねん」

しばらく行ってから、「あ、

おれへん」、戻ってきた。今だに傷跡が、ほれ、ここんとこ。

△うわっ▽（笑）

「泣いてた？」

泣いてた泣いてた。これだけ傷跡残ってても、これ擦り傷

だけやねん。それやのに大きさに、三角巾で腕吊ってた。

「ショックやってんやろ。お母さんに振り飛ばされて」

（笑）

もうおおかた家に帰りかけてたらしい。

△そんなにきつい坂？▽

きついしな、ここが急にきつって曲ってるから、落とされ

る。（笑）

△今でもそういうお母ちゃん？▽
そうですねえ。

「今も交北から牧野のおばちゃんの家まで、ちょっと行ってくるわ言うて、バアーと自転車飛ばしてはる」

△年何ぼぐらい？▽

六十三。

△ふうーん▽

三十五の時の子やから。

「一人っ子でもなあ……」

△一人っ子か。一人っ子でも、落っこちて気にしやへんね

んなあ▽

ぜーんぜん。（笑）一人っ子でも大事にされた覚えなんか

ぜんぜんないわ。おさがりばかりやった。近所とか親戚の。

また、おさがり好きやねん。

* * *

△おやじさんは何してた？▽

ふつうの会社員でした。

△今も元氣してはるの？▽

いや、どうしてるか知らん。

「行方知れず」

片鉾に行ったのは、離婚して母親と二人で行ってん。

「お父さんのマヌケな話したったら？」

あのう、広告会社の電通に行っとったから、生活がちよつと派手だったんですよ。そやから……

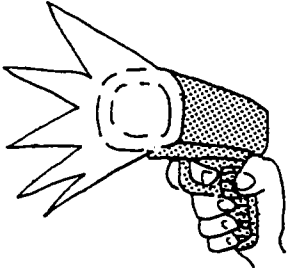
「で、テレビテレビ」

テレビ？ そうか。電気製品もけっこう買うのん早かったし、テレビでも、白黒の時代にリモコンのテレビやった。昔リモコンいうたら、音でカチンカチンとかいうリモコンでしたけど、そんなんじゃないやなくて、ピストル型の光の出る奴でしたん。

△ふうーん▽

その光リモコンは、懐中電灯にもなるぐらいの光。

△そらすごい！▽（笑）



リモコンの装置がつぶれても、しばらくは懐中電灯として使えた。

△できるの？▽

うん。

△どこのテレビ？▽

どこやったかなあ。

「スキーは？」

今誰でもスキーしてるけど、

二十年ぐらい前はする人少なかった。けど幼稚園の時、子供

用のスキー持ってましたよ。靴なんかでも、ひもを順番にかけてくやつ。ストックが竹。

「スキーを足にくくりつけずにパネでパチンととめて、流れ止めのひもを足首にくくりつける。こないだ久しぶりにスキー用品のとこ行ってんなあ。びっくりしたなあ。流れ止めあれへん！」

△流れ止めて？▽

「あの、昔は板にひもがあって、足がぐねっても、板が流れんようになってた。今はスキーの板自身に仕掛けがしてあって、ギザギザが出るから流れへん」

△ふうーん▽

昔の板は、今ほど簡単に外れてくれへんかったから、それで足やられる。

「クーラーは？ 早よしゃべりんか！」

出だしのクーラーやから、室内機と室外機と一体型なんです。壁にガーツて穴開けて、そこにはめ込む。つけるとうなりをあげる。ガガガ、ガガガガ。

「暑い我慢するか、うるさい我慢するかやなあ」（笑）
△すごいなあ！▽

（了）